

セキュリティ運用を軽快に実現する “MistyGuard”ソリューション

青木隆之*
田名網淳夫**
羽山哲雄**

“MistyGuard”Solution : Information Security Software Easy to Use

Takayuki Aoki, Atsuo Tanaami, Tetsuo Hayama

要旨

個人情報保護法施行以降、2005年にはP2P(Peer to Peer : 不特定多数の個人間でやり取りするインターネットの利用形態)ファイル交換ソフトウェア経由で企業の機密情報が流出する事故が多発して社会問題となったこともあり、ほとんどの企業は何らかの情報セキュリティ対策を導入していると言われている。情報セキュリティツールの利用・運用では利用者及び管理者に負担をかけないことが求められている。

このような背景から、三菱電機インフォメーションシステムズ(株)(MDIS)は、トータルな情報セキュリティ“MistyGuard^(注1)”ソリューションに対して、組織及び個人としての更なる使いやすさ向上を目指し、以下に示すようなバージョンアップを実施した。

(1) ファイル暗号化ソフトウェア“CRYPTOFILE^(注1) PLUS”

これまでは導入時のセキュリティ設定を変更する場合はインストールし直す必要があったが、更新プログラム(アップデート)を実行するだけでセキュリティ設定を変更できるようにした。

(2) パソコンログオンソフトウェア“MISTYLOGON^(注1)

Lite”

これまでは管理用サーバの導入が不可欠であったが、管理サーバがなくても導入可能とした。さらに、指紋照合装置付USB(Universal Serial Bus)フラッシュメモリを使用し、メモリへのアクセスを指紋照合で制御することによって、記録されたデータの安全な持ち運びを可能とした。

(3) 企業機密情報管理“DROSY^(注2) Enterprise Edition”

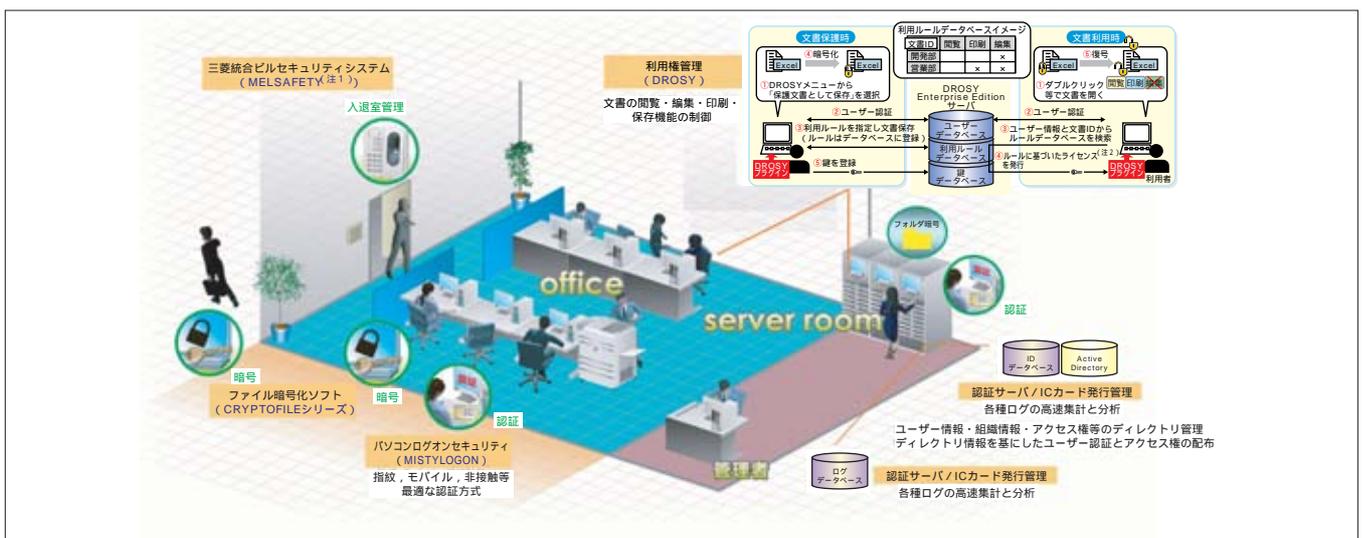
独自管理していたユーザー情報を“Active Directory^(注3)”で一元管理することができ、これまではファイルを個別に暗号化する必要があったが、ファイルサーバ内のファイルを自動で暗号化することができるようにした。

企業において情報セキュリティ管理は事業上不可欠になっており、情報セキュリティ運用は継続性と実効性が重要である。MDISは、今後も更に使いやすく、運用しやすい情報セキュリティ製品の提供に向け機能強化を継続していく所存である。

(注1) MistyGuard, CRYPTOFILE, MISTYLOGON, MELSAFETYは、三菱電機(株)の登録商標である。

(注2) DROSYは、三菱電機インフォメーションシステムズ(株)の登録商標である。

(注3) Active Directoryは、米国Microsoft Corp.の米国及びその他の国における登録商標である。



MistyGuardソリューションの全体概要

オフィスに入室してパソコンにログオンしてから退出するまでと、退出後の情報セキュリティを確保する。